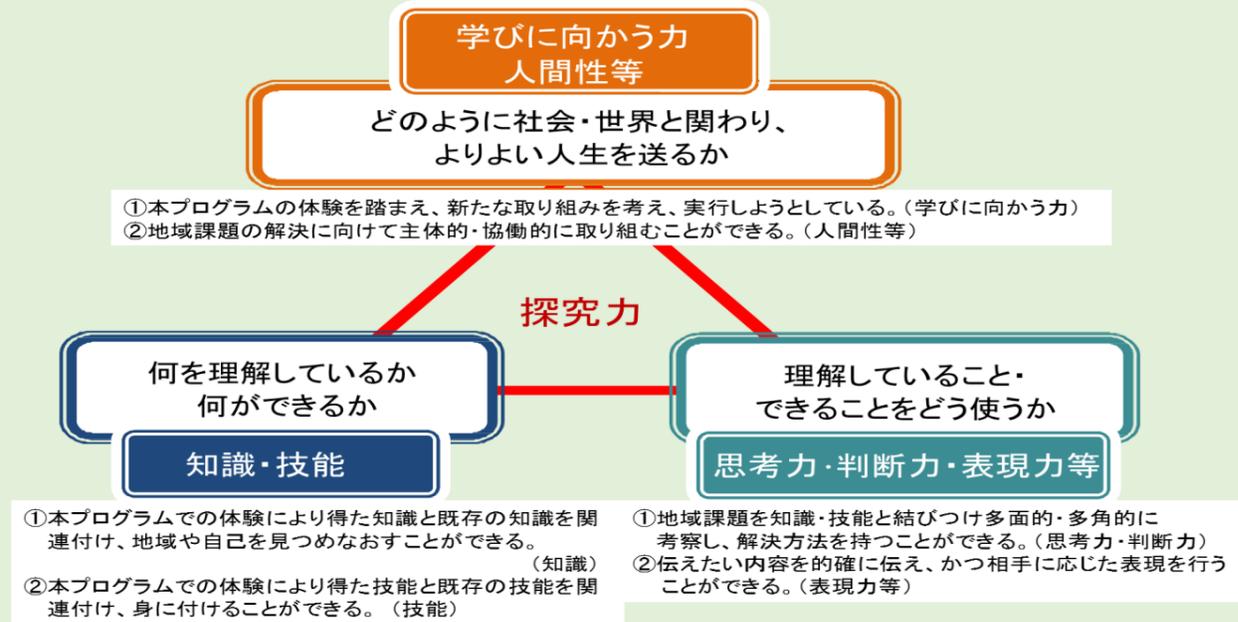


1. 地域探究プログラムとは

探究のプロセスを体験し、ものごとを探究する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力などを身に付けることをねらいとしたプログラムです。

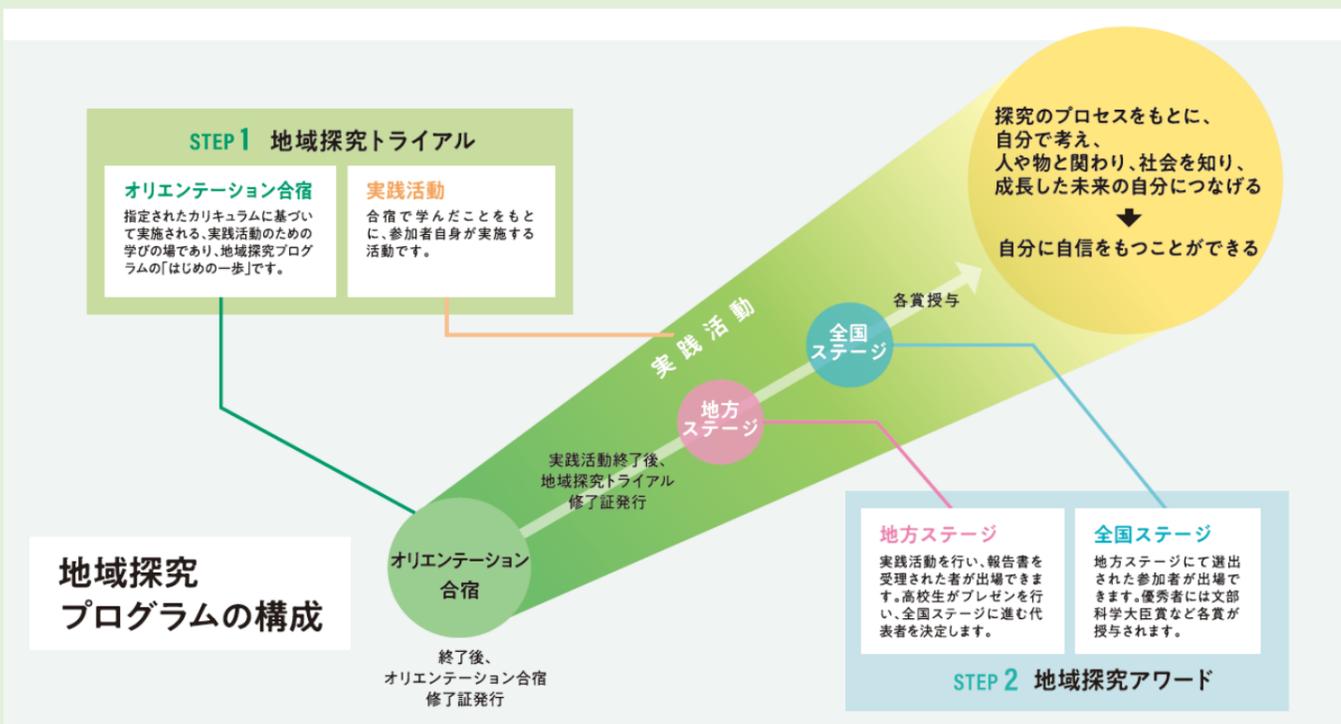
【地域探究プログラムで育成する高校生像】



出典：全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」運営に関するガイドライン（2020年12月）

2. 地域探究プログラムの構成

「地域探究プログラム」は、高校生の体験活動を通じた成長を目指し、改訂された学習指導要領のキーワードである「探究」の手法を用いて学習を深める制度です。取組みを段階的に分けており、ステップⅠ「地域探究トライアル」とステップⅡ「地域探究アワード」から構成しています。「地域探究トライアル」では「探究」の学びと実践を、そして「地域探究アワード」では意欲の高い高校生向けに実践活動の顕彰を行います。



出典：全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」運営に関するガイドライン（2020年12月）

3. 地域探究トライアルの実施例（連携校：前橋市立前橋高等学校）

【ガイダンス・事前学習を学校にて実施】※日程は、学校の年間指導計画に応じて、柔軟に対応します。

回	カリキュラム科目
1	ガイダンス
2	講話等「地域づくりの実践」

学校にて、ガイダンス等を実施

1回：施設職員が、「地域探究プログラム」について説明。2回：「赤城山観光」について、参加者自身が深く調べたいテーマを設定。



【オリエンテーション合宿を施設にて実施】※令和2年8月1日（土）～2日（日）実施

回	カリキュラム科目
3	フィールドワーク①「地域の魅力を発見」
4	講義・演習①「地域理解」
5	講義・演習②「課題解決の基礎」
6	フィールドワーク②「地域課題の探究」
7	講義・演習③「地域課題の探究」
8	発表①

施設にて、「探究のプロセス」を体験する科目を実施

合宿では、3回：前橋地域おこし協力隊の方（以下、講師）と一緒に、赤城山大沼周辺で「赤城山観光」を体験。4・5回：体験した地域課題から、「赤城山観光プラン」のアイデアを考案。6回：講師と一緒に「赤城山観光プラン」の練り直し。7回：発表に向けて、資料作成。8回：施設で合宿のまとめとして、企画発表。



※2年生10名、1年生4名が合宿に参加



【合宿後の活動を学校にて実施】※2学期の授業に合わせて、日程を調整します。

回	カリキュラム科目
9	講義・演習④「行動計画の基礎」
10	発表②
11	実践活動のためのガイダンス

学校にて、実践活動の事後学習を実施

9回：合宿で学んだことを活かし「前橋市活性化プラン」をすすめる。10回：学級ごとに「前橋市活性化プラン」を発表。11回：「前橋市活性化プラン」に取り組む上での注意事項を確認し、manifestoを作成。



※施設職員が学校を訪問し、合宿後の事後学習を支援